Garment Printer GP-1810D

日常のお手入れマニュアル

お願い

Garment Printer GP-1810D は非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面はわずかなホコリや紙粉の付着でも、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果を得られなくなる可能性があります。インクジェットプリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的に、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

株式会社ミマキエンジニアリング

D201271

目　次

長期間使用しない場合は 4
お手入れ上のご注意 4
テーブル、外装のお手入れ 5
スライダ下面の付着インクの洗浄 5
始業時の抜染液の充填について 6
終業時の洗浄液の充填について 8
画質不良が解消されない場合は 10
ワイパキャップ、ワイパクリーナーのクリーニング 11
ノズルの洗浄[ノズル センジョウ] 14
インク排出路の洗浄について[ハイロ センジョウ] 17
長期間使用しない場合[ホカン センジョウ] 19
廃インクタンクのインクが溜まったら 23
フラッシングトレイインク吸収材の交換 24

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

長期間使用しない場合は

★ 電源を必ずオフにしてください。
★ セットしてあるワークを取り除いてください。
★ ホカンセンジョウ機能を実行してください。

お手入れ上のご注意

★ 本装置は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。

★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

★ お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。

★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。
カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。

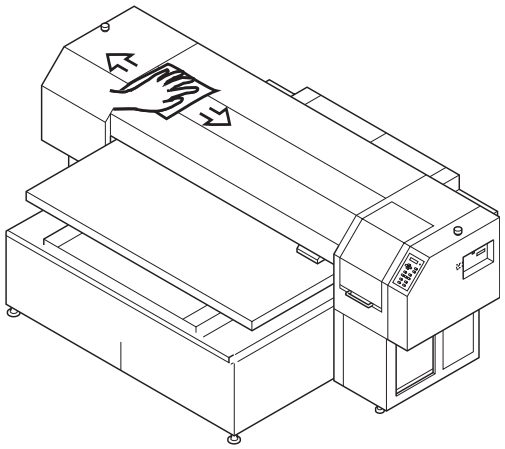
★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。
プリンタ機構が故障する恐れがあります。

テーブル、外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。テーブル上のホコリも清掃してください。
飛行曲がり、インクボタ落ちの要因になります。

用意するもの：

- **中性洗剤**
- **ウエス（適宜）**



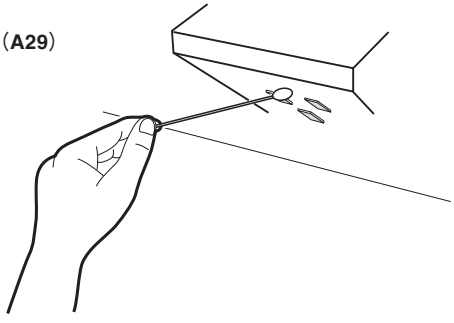
スライダ下面の付着インクの洗浄

本装置を長期間ご使用になると、ゲル状になったインクがスライダ下面に溜まってくることがあります。この付着インク滴が大きくなると、ワークを汚す原因になります。定期的にヘッド下部の付着インクを付属の綿棒に洗浄液（A29）をつけて、こすり落としてください。

> ★ ヘッドのノズル部分を綿棒でこすらないように注意してください。
> ヘッドのノズル部分を傷つけると、インクの吐出不良の原因になります。

用意するもの：

- **綿棒**
- **洗浄液（A29）**



始業時の抜染液の充填について

本装置で使用している抜染液は長時間使用していると、プリントヘッドの寿命を低下させます。抜染液用ヘッドの寿命の低下防止のために、長時間使用しない場合は抜染液を抜いて洗浄液を充填します。始業時には毎回、抜染液用ヘッドに充填されている洗浄液を抜いて、抜染液を充填する作業を行います。

操作手順

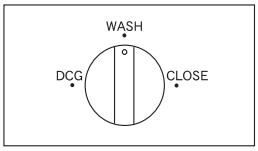
1. ローカル状態から【FUNCTION】キーを４回押します。

FUNCTION バッセンキリカエ 〈ENT〉

2. 【ENTER】キーを押します。

3. XY キー【▲】または【▼】で切り替えます。
バッセンエキ」を選択。

バッセンキリカエ ジュウテン：バッセンエキ

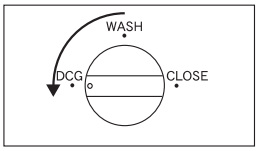


4. 【ENTER】キーを押します。

5. ステーションカバーを開けます。

6. 全てのバルブを、「DCG」側に切り替えます。

バルブ ヲ ［DCG］ニシテ ［ENT］ヲ オシテクダサイ



7. ステーションカバーを閉じます。

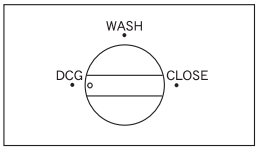
8. 【ENTER】キーを押します。

9. 本装置の初期化を行った後、抜染液を充填します。

ショキカチュウ シバラク オマチクダサイ

10. 残りの実行時間を表示します。

ジュウテンチュウ 00：＊＊：＊＊



11. 抜染液の充填が終了すると、
《ローカル》表示になります。

<<ローカル>>
X＝１０１０　Y＝１８６０

★ 毎回始業時には、抜染液の充填を行います。
★ 毎回終業時には、抜染液ヘッド保護のため洗浄液の充填を行います。（⇒P.8）

終業時の洗浄液の充填について

抜染液用ヘッドに抜染液を充填したままにして長時間放置すると、抜染液がヘッドの撥水層を溶かしてしまい、抜染用ヘッドの寿命が低下してしまいます。寿命の低下防止のために長時間使用しない場合は、抜染液を抜いて洗浄液を充填しておきます。

操作手順

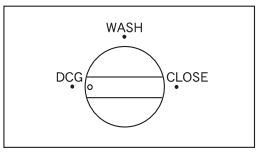
1. ローカル状態から【FUNCTION】キーを４回押します。

FUNCTION バッセンキリカエ 〈ENT〉

2. 【ENTER】キーを押します。

3. XYキー【▲】または【▼】で切り替えます。
「センジョウエキ」を選択。

バッセンキリカエ ジュウテン：センジョウエキ

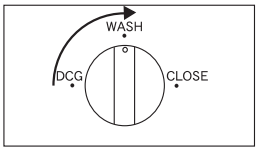


4. 【ENTER】キーを押します。

5. ステーションカバーを開けます。

6. 全てのバルブを、「WASH」側に切り替えます。

バルブ ヲ［WASH］ニシテ ［ENT］ヲ　オシテクダサイ



7. ステーションカバーを閉めます。

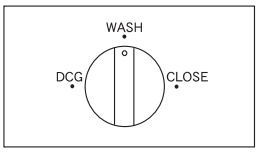
8. 【ENTER】キーを押します。

9. 本装置の初期化を行った後、洗浄液を充填します。

ショキカ チュウ シバラク オマチクダサイ

10. 残りの実行時間を表示します。

ジュウテン チュウ ００：＊＊：＊＊



11. 洗浄液の充填が終了すると、《ローカル》表示になります。

＜＜ローカル＞＞
X＝１０１０　Y＝１８６０

★ 毎回終業時には、抜染液ヘッド保護のため洗浄液の充填を行います。
★ 毎回始業時には、抜染液の充填を行います。（⇒P.6）

画質不良が解消されない場合は

ステーション内部の汚れがひどい場合、またヘッド（ノズル）のクリーニング機能（ ⇒ 取扱説明書 P.2-12)を実行しても画質不良が解消されない場合は、洗浄キットを使用して、ワイパーとキャップ、そしてワイパークリーナーのクリーニングを行ってください。

以下の洗浄キットを使用して、吸引ノズルとキャップのクリーニングを行います。
・洗浄液ボトルキット(A29)(SPC-0137:別売品)
・手袋
・清掃棒
・保護メガネ

★ 清掃をする場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
インクが目に入る場合があります。

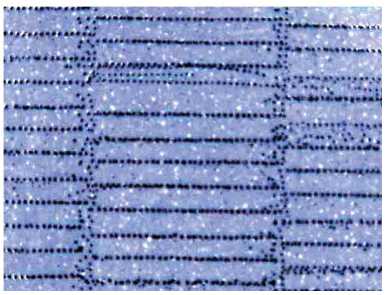
★ アルコール、水等は使用しないでください。

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。
キャリッジは操作キーを使用して動かします。

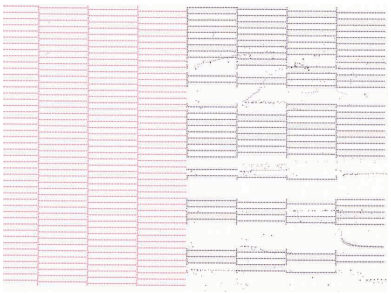
作図不良の例

ホコリなどを原因として発生する、ヘッドの吐出不良が作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態でご使用にならないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認されることをお勧めします。ノズルの状態は、本装置の「テスト作図」で確認することができます。(⇒ 取扱説明書 P.2-12)

飛行曲がり



ノズル抜け



ボタ落ち

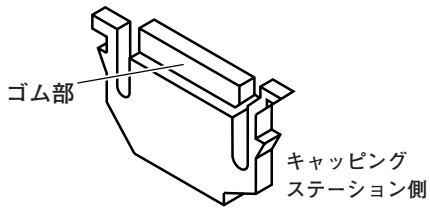
しぶき

ワイパキャップ、ワイパクリーナーのクリーニング

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥して目詰まりするのを防止します。
ワイパは、ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取ります。
本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。
作業後は、綿棒などでクリーニングしてください。

注意

★ 毎日の作業終了後は、ワイパをクリーニングしてください。
★ ホコリが多量に付着したワイパを使用して、ヘッドクリーニングを実行しないでください。ワイパに付着したホコリは、ヘッドを傷つけ、作図不良の原因になります。
★ ワイパは、２個同時にクリーニングして下さい。
★ 手でキャリッジをキャッピングステーションから出さないでください。
★ 新しいワイパのゴム部分に触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。



★ クリーニングが終了したら、速やかに【ENTER】キーを押してキャリッジをキャッピングステーションに戻してください。キャリッジがキャッピングステーションから出た状態で長時間放置しておくと、ノズル詰まりの原因になります。

操作手順

1. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
セッテイ　　< ENT >

2. XY キー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

FUNCTION
メンテナンス　　< ENT >

3. 【ENTER】キーを押します。

メンテナンス
リスト　　＜ ent ＞

4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。

メンテナンス
ステーションメンテ　＜ ent ＞

5. 【ENTER】キーを押します。
テーブルが奥側に、Yバーが上に移動します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがステーション上から移動します。

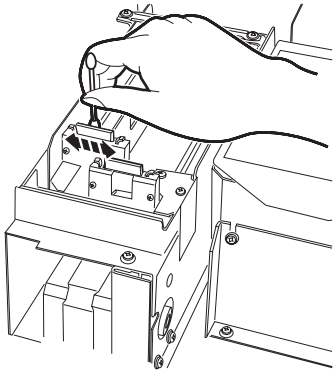
ステーション メンテナンス
メンテ　：キャリッジ アウト

6. ステーションカバーを開け、ワイパの両面をクリーニングします。

キャリッジアウト
シュウリョウ　　：ent

洗浄液（A29）を含ませた綿棒で、ワイパに付着したインクを拭き取ります。

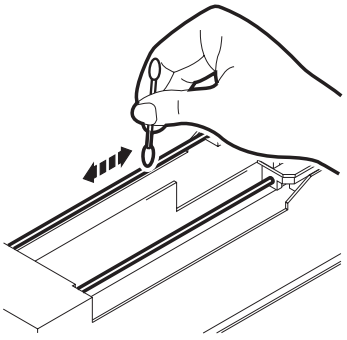
● 汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。



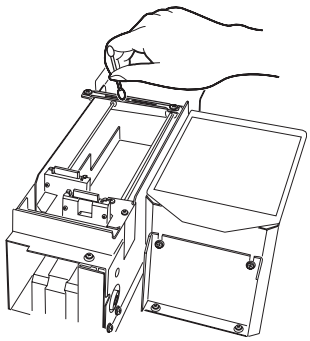
7. ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。
（汚れが落ちにくい場合は、綿棒または布等を水で湿らせてクリーニングします。）

注意

★ ワイパのガイド軸が極度に汚れていると、ワイパの動作不良によりエラーを表示する場合があります。

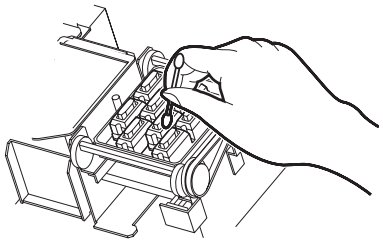


8. ワイパークリーナーに付着したインク等を綿棒で拭き取ります。



注意
★ワイパークリーナーのエッジ部は鋭利ですので、怪我をしないように作業してください。。

9. キャップのゴムに付着したインク等を綿棒で拭き取ります。



注意
★毎日、その日の作業終了時にクリーニングしてください。

10. ステーションカバーを閉じて、【ENTER】キーを押します。
初期動作を開始します。

ENTER

キャリッジ アウト シュウリョウ　　：ent
ショキカ チュウ シバラク オマチクダサイ

11. ローカルモードに戻ります。

＜＜ローカル＞＞ X＝１０１０　　Y＝１８６０

ノズルの洗浄[ノズル センジョウ]

ノズル抜けが発生する場合、ノズルを洗浄します。
この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インクジュウテン]機能(⇒P.5-11)を実行してください。それでも解消されない場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。

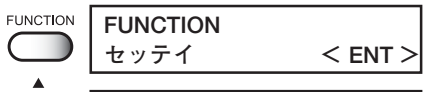
> ⚠ 注意
> ★ 1ヘッド当たり2色（2カートリッジ）を使用している関係で、双方のインク残量の差が大きい場合、水頭値を均一にしようとする働きが生じ、インク残量の少ないカートリッジへインクが流れ、混色する可能性があります。
> 混色が発生した場合は、「インクジュウテン」機能（P.5-11）を実行して下さい。
> ★ ノズル抜けの発生しているヘッドのみに実施して下さい。

用意するもの：

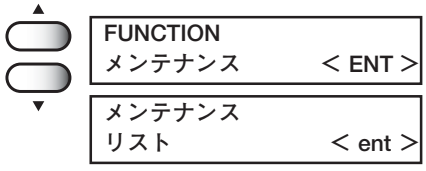
- **洗浄液ボトルキット A29（SPC-0137:別売品）**
- **スポイト**

操作手順

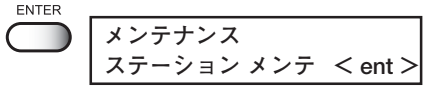
1. 【FUNCTION】キーを押します。



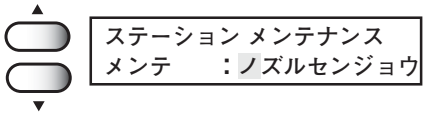
2. XYキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。



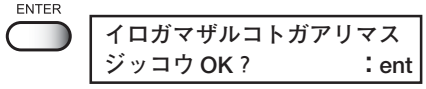
3. 【ENTER】キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。



4. XYキー【▲】または【▼】を押して、[ノズル センジョウ]を選びます。



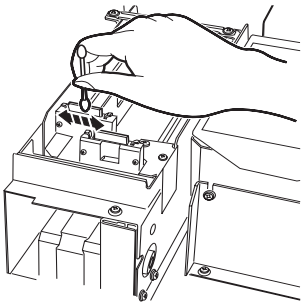
5. インクが混ざる注意を促します。
【ENTER】キーを押します。



6. 【ENTER】キーを押します。
テーブルが奥に、Yバーが最上に移動します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがテーブル上に移動します。

7. ステーションカバーを開け、ワイパの両面をクリーニングします。

洗浄液（A29）を含ませた綿棒で、ワイパに付着したインクを拭き取ります。



● 汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。

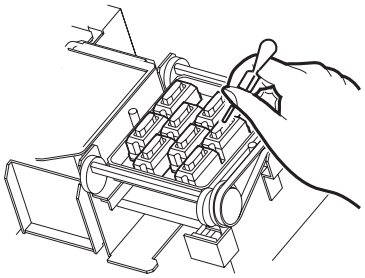
ワイパをクリーニングし、【ENTER】キーを押します。

ENTER

ワイパ クリーニング
シュウリョウ ：ent

8. スポイトで洗浄液(A29)をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

センジョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ ：ent



ステーションカバーを閉じて、【ENTER】キーを押します。

ENTER

センジョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ ：ent

9. XY キー【▲】または【▼】を押して、放置する時間を選びます。（1 ～ 99 分：1 分単位）
通常は「1 min」で設定します。

▲
▼

ノズル センジョウ
ホウチ ジカン ＝ 1 min

10. **【ENTER】キーを押します。**
初期動作を実行します。

ショキカ チュウ
シバラク オマチクダサイ

残り放置時間を表示します。

ホウチ チュウ
００：＊＊：＊＊

放置時間経過後、クリーニングを実行します。
残りクリーニング時間を表示します。

クリーニング チュウ
００：＊＊：＊＊

11. **クリーニング終了後、ローカルモードに戻ります。**

＜＜ローカル＞＞
Ｘ＝１０１０　　Ｙ＝１８６０

インク排出路の洗浄について[ハイロ センジョウ]

インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。
このインク詰まりを防止するために、排出路内を洗浄します。

> 注意
>
> ★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

用意するもの：

- **洗浄液ボトルキット A29（SPC-0137:別売品）**
- **スポイト**

操作手順

1. **【FUNCTION】キーを 1 回押します。**

FUNCTION
セッテイ　＜ ENT ＞

2. **XY キー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。**

FUNCTION
メンテナンス　＜ ENT ＞

3. **【ENTER】キーを押します。**
[ステーション メンテ]を表示します。

メンテナンス
ステーションメンテ　＜ ent ＞

4. **【ENTER】キーを押します。**
[キャリッジ アウト]を表示します。

ステーション メンテナンス
メンテ　：キャリッジ アウト

5. **XY キー【▲】または【▼】を押して、[ハイロ センジョウ]を選びます。**

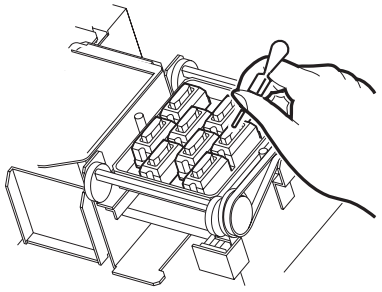
ステーション メンテナンス
メンテ　：ハイロセンジョウ

6. **【ENTER】キーを押します。**
テーブルが奥側に、Y バーが最上に移動します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがテーブル上に移動します。
空吸引動作が始まります。吸引動作を 10 秒、停止時間が 10 秒をそれぞれ交互に動作し続けます。

ハイロ センジョウ
シュウリョウ　：ent

7.　ステーションカバーを開けます。

8.　スポイトで洗浄液（A29)をとります。空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前まで洗浄液（A29)を垂らします。すべてのキャップに対して同様に洗浄液(A29)を垂らします。



9.　フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
30 秒間空吸引を実行した後、初期動作を開始します。

```
ハイロ センジョウ
シュウリョウ              ：ent
```

```
ショキカ チュウ
シバラク オマチクダサイ
```

10.　ローカルモードに戻ります。

```
＜＜ローカル＞＞
X＝１０１０　　Y＝１８６０
```

長期間使用しない場合[ホカン センジョウ]

１週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。
その後、本装置を保管してください。

> 注意
>
> ★ １ヘッド当たり２色（２カートリッジ）を使用している関係で、双方のインク残量の差が大きい場合、水頭値を均一にしようとする働きが生じ、インク残量の少ないカートリッジへインクが流れ、混色する可能性があります。
>
> 混色が発生した場合は、「インクジュウテン」機能（P.5-11）を実行して下さい。

用意するもの：

- **洗浄液ボトルキット A29（SPC-0137:別売品）**
- **スポイト**

操作手順

1. 【FUNCTION】キーを１回押します。

FUNCTION
セッテイ　＜ ENT ＞

2. XY キー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

FUNCTION
メンテナンス　＜ ENT ＞

3. 【ENTER】キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。

メンテナンス
ステーションメンテ　＜ ent ＞

4. XY キー【▲】または【▼】を押して、[ホカン センジョウ]を選びます。

ステーション メンテナンス
メンテ　：ホカンセンジョウ

5. インクが混ざる注意を促します。
【ENTER】キーを押します。

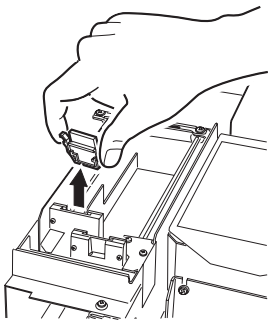
イロガマザルコトガアリマス
ジッコウ OK？　：ent

6. 【ENTER】キーを押します。
テーブルが奥側に、Ｙバーが最上に移動します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがテーブル上に移動します。

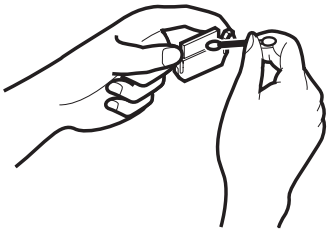
ワイパ クリーニング
シュウリョウ　：ent

7. ステーションカバーを開けます。

8. ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

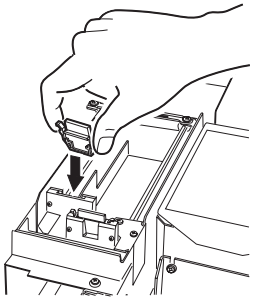


9. ワイパとブラケットに付着したインクを、洗浄液（A29)を含ませた綿棒で取り除きます。



● 汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。

10. 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。



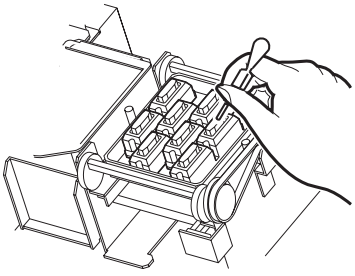
【ENTER】キーを押します。

ENTER

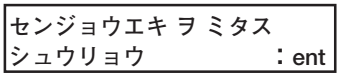
ワイパ クリーニング
シュウリョウ ：ent

11. スポイトで洗浄液（A29)をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。

センジョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ ：ent

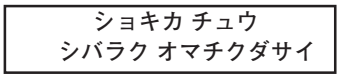


12. ステーションカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。



13. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、放置する時間を選びます。（1 ～ 99 分：1 分単位）
通常は「1 分」に設定します。

14. 【ENTER】キーを押します。
初期動作を実行します。



残り放置時間を表示します。

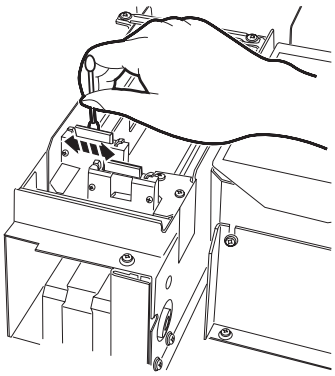
放置時間経過後、クリーニングを実行します。
残りクリーニング時間を表示します。

ノズルの洗浄が終了すると、Y バーが最上に移動します。ワイパが前に移動し、キャリッジがテーブル上に移動します。

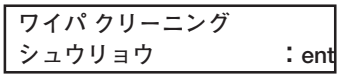
15. ステーションカバーを開け、ワイパの両面をクリーニングします。

洗浄液（A29）を含ませた綿棒で、ワイパに付着したインクを拭き取ります。

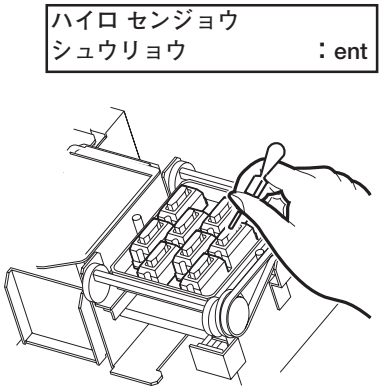
● 汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。



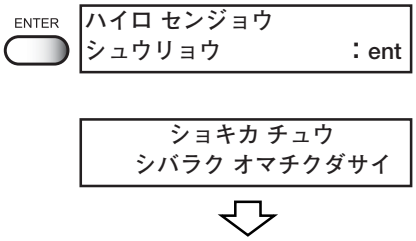
ワイパをクリーニングし、【ENTER】キーを押します。



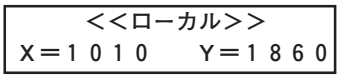
16. **スポイトで洗浄液（A29)をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。**
空吸引動作が始まります。吸引動作を 10 秒、停止時間が 10 秒をそれぞれ交互に動作し続けます。停止中に空吸引動作を数回繰り返し、インクの排路をクリーニングします。
すべてのキャップに対して行います。



17. **ステーションカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。**
キャリッジが、ステーションに戻り、初期動作を開始します。



18. **ローカルモードに戻ります。**



廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドのクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクに溜まります。
ディスプレイに「ニアフル」、「フル」を表示したら、速やかに廃インクタンク内のインクを処分してください。

インクタンク ハイインク タンク ニア フル

インクタンク ハイインク タンク フル

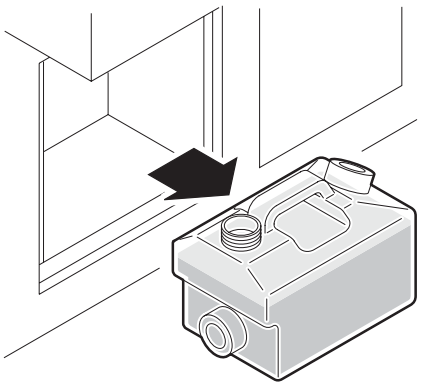
- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店、弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。

★ インクを排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
★ 長期間使用しない場合は、廃インクの多い、少ないにかかわらず、廃インクを処分してください。

操作手順

1. 廃インクタンクを手前に引き出します。

注 意
★廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンクの口をティッシュなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。
★インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから廃インクタンクを交換してください。



2. 廃インクを別のポリエチレンタンクに移します。

★ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

3. 空にした廃インクタンクを再度セットします。

フラッシングトレイインク吸収材の交換

インク吸収材の目が詰まった状態になり始めたら、フラッシングトレイのインク吸収材を交換してください。そのまま使用すると、インクミストの発生、ヘッドノズル面を汚す原因になります。

注意

★ 毎日の作業終了時に、インク吸収剤の汚れをチェックしてください。

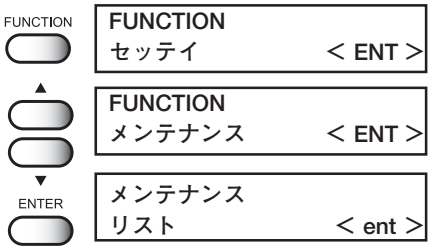
用意するもの：

・インク吸収材 100 枚入（注文番号 M-3）

交換方法

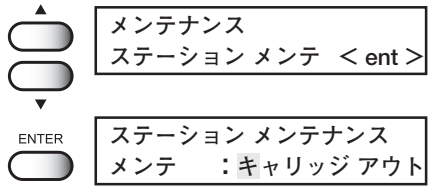
1. 【FUNCTION】キーを押します。

2. XY キー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選び、【ENTER】キーを押します。



3. XY キー【▲】または【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。

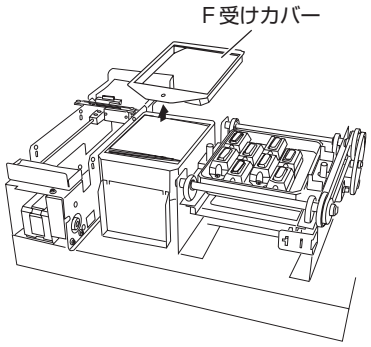
4. 【ENTER】キーを押します。



5. 【ENTER】キーを押します。
テーブルが奥側に、Yバーが上に移動します。
ワイパが前に移動し、キャリッジがステーション上から移動します。

6. ステーションカバーを開けます。

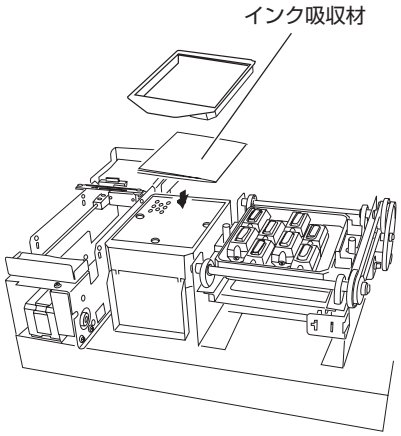
7. フラッシングトレイ上のＦ受けカバーを上に外します。



8. インク吸収材を取り除きます。

9. 新しいインク吸収材（添付品）をトレイ上に敷きます。
四つ折り状態のまま、中央に敷いてください。

注意
★インク吸収材が、折れたり、浮いたりしていないことを確認してください。ヘッドノズル面をこする可能性があります。



10. 上からＦ受けカバーをかぶせます。

注意
★Ｆ受けカバーは、奥まで押し込んでください。カバーが浮いていると、トラブルの原因になります。

11. ステーションカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。
初期動作を開始します。

キャリッジアウト
シュウリョウ　：ent

12. ローカルモードになります。

＜＜ローカル＞＞
Ｘ＝１０１０　Ｙ＝１８６０

D201271-1.00-30062005
©MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.

TI